

JA全農えひめ情報

# みらいへど

■特集

JA全農 平成26年度事業方針

■JA直売所めぐり

〈総集編 中予Ⅱ〉「いよっくら」「JAグリーンえひめ」

4

2014・April



▶産地と消費地を結びながら、えひめ野菜をPRする「乱太郎トラック」



▲乱太郎を使った、えひめ野菜の販促資材

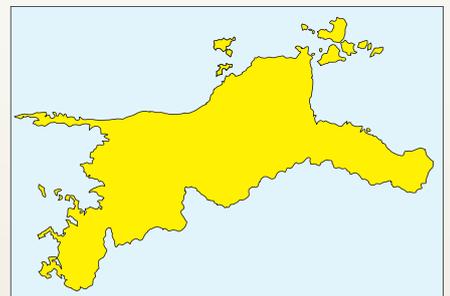
## 乱太郎トラック

(県内全域)

J A 愛媛野菜生産者組織協議会とJ A 全農えひめは、平成元年度から、朝日小学生新聞に連載中だった「落第忍者乱太郎」(作者・尼子騒兵衛さん)をえひめ野菜のイメージキャラクターに採用しました。以来、えひめ野菜の消費拡大につなげようと、ポスター、パッケージ包装やリーフレットなど各種販促資材に活用し、「乱太郎」II「えひめ野菜」のイメージを前面に打ち出して販売促進活動やPR活動を展開しています。

「乱太郎」の大きな笑顔と「えひめ元気野菜」の文字がひととき目を引く「乱太郎トラック」は、平成12年にえひめ野菜の「動く広告塔」として導入された専属の物流トラックです。現在は4台が、県内各産地のJ A 野菜集出荷場で野菜を積み込んで、京阪神地区や県内の卸売市場に届けています。

「乱太郎トラック」は、ほぼ毎日運行中。「乱太郎」が笑顔を振りまきながら、沿道の方々、消費者の皆さんにえひめ野菜をPRし、産地と消費地を安心して結ぶ懸け橋の一翼を担っています。



# めぐり〜ど

April 2014

## CONTENTS

### 全農グループの経営理念

私たち全農グループは、  
生産者と消費者を安心して結ぶ  
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

### 今月の表紙



桜が花の時期を過ぎた頃、畑では春野菜の収穫や夏野菜の植えつけと農作業が多くなっていきます。

緑の葉がざわわと揺れる畑の主は、香りでわかる新タマネギ。サヤエンドウとイチゴの畑は花盛りです。子どもたちがさがして見つけたしたのは、幸せを招く四ツ葉のクローバー！

今年度も幸先のいいスタートですね。

- 表紙：春の畑  
はら ふみ(イラストレーター)

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心を一にする (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.160

### 乱太郎トラック (県内全域)

2

〈特集〉

平成26年度事業方針

元気な産地づくりと地域の暮らしへの貢献  
など負託と期待に応える事業を展開！

9

機構改革と人事異動

10

JA全農えひめ平成26年度機構図

11

THE・ねっとわーく

12

ふるさと ESSAY VOL.228

### 自転車に乗ってどこまでも♪

作道 泰子さん

14

TOPIC NEWS

16

なんでもBOX

17

統計BOX

18

JAふるさと自慢Vol.160「直売所めぐり」

### 〈総集編 JA全農えひめ&グループ会社〉 JAグリーンえひめ&いよっくら

20

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 乾椎茸

### JA全農えひめ

### ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

#### ■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

#### ◆(株)えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

#### ◆JAえひめアイパックス(株)

<http://www.iyokkora.jp/>

#### ◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

#### ◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://fresh-ranran.jp/>

#### ◆(株)ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

#### ◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

（変革・創造・実践）

# 元気な産地づくりと地域のくらしへの貢献 など負託と期待に応える事業を展開！

## JA全農 平成26年度計画

### 基本方向

#### 1. 基本的考え方

全農は、3か年（25～27年度）計画において、「元気な産地づくりと地域のくらしへの貢献」、「国産農畜産物の販売力強化」、「海外事業の積極展開」を全農グループの3大重点事業施策と位置付け、これらを実現するための方策として「将来のリスクや戦略的投資に備えた経営基盤拡充」の取り組みを進めています。

25年度は、この方針にもとづき、①地域実態をふまえた地域生産振興策の策定、②業務用野菜・加工品の

製造・販売会社の設立、③国産原料にこだわった全農ブランド商品の販売開始、④海外での焼肉レストランの展開、など具体的な実践に入っています。

一方で、国内農業とJAグループの事業を取り巻く環境は、25年度に入ってから大きく変化しています。米の直接支払交付金の減額や、飼料用米等への支援を盛り込んだ米政策の見直しが決定されるとともに、「農林水産業・地域の活力創造プラン」では、今後、26年6月に向けて、農協の事業・組織のあり方、役割を見直す議論を行うとされています。TPP（環太平洋連携協定）交渉は、25年中の決着は見送られましたが、

予断を許さない状況が続いています。

また、26年4月の消費税率の引き上げにより、農畜産物を含めた消費全体の減少や、生産コスト増高による農業収益への圧迫が懸念されます。

こうした情勢をふまえ、3か年計画で掲げた施策のさらなる深化・追加・見直しをおこない、新たな政策体系に即した国内農業生産の維持・拡大、ならびに消費者への安全・安心な国産農畜産物の販売力強化に取り組み、組合員・会員の負託と消費者の期待に応える事業を展開します。

#### 2. 深化・追加・見直しの方向

(1) 元気な産地づくりと地域のくらしへの貢献

国内農業生産の維持・拡大に向けて、地域の実情・実態をふまえて策定した生産振興策の実践を加速しま

表1 全農 平成26年度 事業別取扱計画

(単位：億円、%)

事業	26年度	25年度	前年比
米穀農産事業	8,637	8,492	102
園芸事業	11,567	10,802	107
畜産事業	11,103	10,726	104
営農・生産資材事業	8,537	8,360	102
生活関連事業	10,087	9,896	102
合計	49,931	48,277	103

す。また、地域のくらしへの不安が高まるなかで、経済事業を通じ、安心して暮らせる豊かな地域社会づくりに貢献します。

ア. 既存作物の維持・拡大や新規作物の育成など消費者ニーズに即した産地づくり、ならびに労働力不足に対応した農作業受委託、新規就農支援など地域の先事例の展開・普及。

イ. 県域・JAのTACの活動や生産性向上をはかる新技術・資材の開発研究などを通じた生産現場の支援。

ウ. 加工・業務用野菜の栽培・機械化体系の確立や、業務用・飼料用向けの多収穫米の栽培実証・生産提案。

エ. Aコープ店舗の基盤整備と競争力強化、「JAくらしの宅配」などネット宅配事業の拡充、ライフライ

ン拠点へのコンパクトセルフSS提案などを通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会づくりに貢献します。

(2) 国産農畜産物の販売力強化

3か年計画の目標に掲げた「JAグループ主導のバリューチェーン構築」に向け、従来の素材中心の卸事業から、より消費者に近いところでの事業へと領域を拡げ、国産農畜産物の付加価値の向上に取り組みます。

(3) 海外事業の積極展開

販売事業では、輸出相手国の事情に応じて商品、輸送方法、販売方法など多様な取り組みを展開し、国産農畜産物の輸出拡大に取り組みます。

購買事業では、海外諸原料の需給が逼迫トレンドにある中で海外からの原料調達能力の拡充をはかり、生産現場への安定供給に取り組みます。

(4) 米政策の見直しへの対応

JA全中とも連携しながら、新たな政策体系に即した国内生産の維持・拡大に取り組みます。大規模生産者を中心とした生産現場対応の強化、精米販売の拡大等を通じて稲作経営の安定化をはかるとともに、飼料用米など水田活用米穀の取り扱いでは、実需を確保した生産誘導をはかるため、種子確保から栽培、集荷、

保管、物流、製造、供給などの各段階において、全農の取組態勢と事業スキームの構築をすすめます。

(5) 東日本大震災からの復興支援

東日本大震災からの復興ならびに原発事故による風評被害の払拭に向けて、国・県などの行政、他団体・機関と連携し、引き続き、被災地の実情に応じた地域農業の支援と消費者への情報宣伝活動に取り組みます。

事業別実施具体策

米穀農産事業

① 新たな米政策体系に即した水田活用米穀の取扱拡大、実需者ニーズに即した契約栽培の提案など、生産現場対応の強化。② 大手実需者への対応力強化による精米販売の拡大、炊飯事業や通販・宅配を活用した消費者接近型事業の強化。③ 国産麦類・大豆・でん粉の品目を横断した取引先への提案活動による販売拡大。

園芸事業

① 実需者ニーズに基づく契約栽培・買い取り販売の拡充。② 重点卸売市場との連携による実需者向け契約取引の拡大。③ 直販機能拡充に向けた新たな加工・包装施設などの設置および業務・加工原料野菜の安定

的な供給体制の構築。④全農ブランドのカット野菜など国産青果物を原料とする加工品の開発・販売。

**営農販売企画**

①農業生産基盤の強化に向けた大規模営農モデルの実証・普及、および生産現場を支える技術提案。②TACの活動を通じた、生産振興に向けた生産販売マッチングおよびJA・県域で連携した農業法人への訪問拡大。③品目横断での総合販売による全農グループ直販6社売り上げ拡大。④海外での外食店舗展開等による国産農畜産物の輸出拡大。

**生産資材事業**

①トータル生産コストの低減に向けた、生産現場のニーズに基づく省力・低コスト技術・資材の開発普及。②肥料原料の安定調達に向けた輸入元の多元化や、生産現場の防除課題を解決する農薬等の共同開発。③中古農機査定士の育成、プラントに係る担当者認証制度の整備などを通じた、生産現場のニーズに応える人材育成の強化。

**畜産事業**

①国産畜産物の取扱い拡大に向けた加工食品開発や焼き肉店の多店舗化、及び海外営業拠点の設置等による輸出拡大。②米国における集荷・船積施設などのインフラ整備および

産地多元化などによる資料原料調達力の強化。③生産基盤維持・拡充に向けた革新的商品・技術の開発・普及。④新規需要開拓による業務用牛乳の販売拡大。

**生活関連事業**

①利便性に対応したネット宅配事業やAコープ店舗を核とした買い物支援、コンパクトセルフSSの提案など、地域におけるくらしの支援。②国産原料にこだわった全農ブランド商品の開発・販路拡大。③JA・SSブランド力向上による石油取扱シェア拡大及びLPGガスの小売り販売力・保安の強化。④農業施設などを活用した太陽光発電の導入支援。

**経営計画**

**取扱計画**

米の集荷量の拡大、青果物の取扱数量の増加、円安による飼料原料価格および燃料価格の上昇、建設受注物件の完工等を織り込むことにより、すべての事業で取り扱いの増加を見込み、取扱高は4兆9,900億円とします。

**収支計画**

取扱高は25年度計画から増加するものの、厳しい販売環境が想定されることから、事業総利益は25年度計

画並の水準となります。事業利益は黒字を維持し、当期剰余金は3か年26年度計画と同額の52億円とします。

**剰余金処分**

剰余金処分は、利益準備金11億円、出資配当23億円（2%）、任意積立金29億円を計画します。

**財務計画**

(1) 自己資本計画

準備金・積立金は、任意積立金の取崩しによる減少11億円、利益準備金11億円および任意積立金29億円の増加、繰越剰余金23億円を計画します。

(2) 施設等取得・処分計画

販売力強化に向けて、精米工場、炊飯加工施設、集荷施設などの事業施設の設置および、災害の備えとして情報システムにおける二重化対策等を計画し、施設等取得計画を235億円とします。

(3) 外部出資計画

太陽光発電支援事業および購買力強化のための出資を計画し、64億円とします。

**要員計画**

事業環境に対応した要員体制を構築する観点から、27年3月末の職員数は、8,100名程度とします。

## 愛媛県本部 平成26年度計画

### 最重点施策

愛媛県本部は、26年度計画において、「トータルアグリド事業」をさらに推しすすめ、販売に重点をおいた品目別ビジネスモデルの確立と産地基盤の維持拡大に取り組みます。また、新たに地域農業を支える担い手づくりをすすめるため、担い手の確保・育成に向け、J Aと一体となつて積極的な支援に取り組みます。

生産面では、地域特性に合った新品种の導入拡大やブランド化など売れる農畜産物づくりに向けた産地育成に取り組み、生産者手取りの安定と担い手確保をはかります。

流通・販売面では、企画販売・契約販売の拡大など多元的販売による販売体制の強化に取り組み、「愛媛チーム」としての生産・販売力の強化をはかります。

購買面では、新資材・新技術の普及拡大による生産資材コストの低減をはかるとともに、J A総合物流体制の構築により、さらなる物流コスト低減と利便性向上に取り組みます。

また、生活関連事業を通じた地域の元気づくりとくらしへの貢献に取り組みます。

### 耕種事業

(食糧部・営農販売部・生産資材部)

担い手の確保と所得向上をはかるため、生産・流通・販売面の環境変化に対応した新技術導入、低コスト資材の供給及び物流コストの低減化など、トータル戦略としてT A C活動やビジネスモデル品目を軸とした販売力の強化をすすめる、農業生産基盤の維持・拡大に取り組みます。

また、「えひめの食」企画による広報、ふれあい活動等を展開し、消費者の豊かな食生活づくりを提案するとともに環境保全型農業を推進し、愛媛農業および愛媛県産農畜産物への理解と支援をはかります。

### 畜産事業

肉牛・肉豚生産者の経営安定と生産性向上対策を支援し、消費者に支持される高品質生産とブランド化による産地基盤の維持拡大に取り組めます。

また、J Aならびに全農畜産グループが一体となった銘柄確立と販

売力強化をすすめる、生産者の所得向上に取り組めます。

### 生活事業

高齢者や買物弱者対応等、地域のニーズに対応した事業・品目の取り扱いを強化し、地域インフラとしての社会的使命・役割の発揮につとめます。

また、ネット環境を活用した宅配事業や直販事業を拡大し、県産品を中心とした農畜産物の消費拡大や、くらしの安全・安心・健康への貢献に取り組めます。

併せて、環境関連事業や石油・ガス等エネルギーの効率的供給に取り組む、快適で環境にやさしい生活を提案し、安心して暮らせる「地域くらし戦略」の実践支援をはかります。

### 総合物流

広域物流センターを中心にJ A総合物流を構築し、「営農と生活を守る物流」の整備とコスト低減による事業競争力の強化に取り組めます。

### グループ会社

J Aグループの会社として生産者・J A・消費者の期待に応えるよう、生産・加工・販売・購買・物流の各分野においてグループでの事業機能の向上をめざします。

また、愛媛県本部グループ会社全社の経営・財務基盤を確立し、愛媛

事業別実施具体策

農業の振興支援に取り組みます。

(1) 食糧部

① (株)ひめライスとの連携を強化し、県域生販一貫体制にもとづく「ひめライス」ブランドの拡販と定着をはかるため、買取販売を継続し、県内需要者・消費者のニーズに応える集荷量の確保に取り組みます。

② 需要に対応したJA別・銘柄別作付を推進し、産地ブランド米・契約栽培等の企画販売米・水田活用米穀に取り組み、生産者手取りの向上と耕作面積フル活用をすすめます。

③ 全国一の生産量を誇るはだか麦を主体に、担い手を中心とした生産振興と品質向上に取り組みます。

④ 「トータルアグリード事業」を展開するなかで、栽培条件に適応した水稲高温耐性品種「にこまる」の作付拡大とはだか麦多収性品種「ハルヒメボシ」の導入に取り組みます。

(2) 営農販売部

① 系統の総合力を結集して地域営農ビジョンの実践に向けた担い手への支援強化をはかるため「トータルアグリード事業」を展開し、重点品目のビジネスモデル確立と産地強化に取り組みます。また、地域生産振興の実践を担うTACの活動強化と資質向上をはかるとともに、各種研修会を開催し人材育成を支援します。

② 愛媛県オリジナル品種の産地化・ブランド化をすすめるとともに、生産履歴記載対策やGAP手法の導入による安全・安心で信頼される産地づくりに取り組みます。

③ 「愛媛チーム」として県域販売体制強化による市場への有利販売及び提案型販売強化による売り場確保と拡大につとめ、規格・荷姿提案による商品力の向上・コスト削減に取り組みます。

④ 拠点市場・全農青果センター等との連携を強化し、産地と実需者・消費者の結びつきを強める企画販売や行政とタイアップした輸出事業の拡充など、多元的販売に取り組みます。

⑤ 主要量販店をはじめとする既存取引先への供給拡充と併せてギフト対応新規取引先の開拓をすすめる、JAならびに担い手との連携を軸とした直販事業の機能強化に取り組みます。

⑥ 青果物の消費拡大・購入促進を

はかるため、対面型消費宣伝活動の強化と「えひめの食」企画、「オレンジロード」による青果物全般の情報発信と、販売事業と連動した効率的な消費宣伝活動、消費者への効果的な産地アピールに取り組みます。

(3) 畜産部

① 系統畜産生産基盤の維持拡大をはかるため、肉豚19万5,000頭、肉牛5,240頭の取り扱いを目標に、消費者に支持されるブランドづくりと生産者の経営安定をめざした取り組みとして、トータルアグリード事業を実践します。

② 生産農家経営の維持向上のために、JA西日本くみあい飼料(株)・JAえひめアイパックス(株)との連携・強化をはかり、生産性向上と肉質改善対策に積極的に取り組みます。

③ 安全・安心な伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ボーク」の認知度向上と消費拡大に向け、生産農場と販売先を結ぶマッチング販売を展開し、生産者の所得向上に取り組みます。

④ 生産者・JA・行政と一体となり、販売先・消費者に対する愛媛農業への理解醸成と地産地消の啓蒙活動を実施し、県域・地域ぐる

みの産地支援体制の構築に取り組みます。

- ⑤ 肉牛・肉豚の海外輸出、耕畜連携による飼料米の取り扱いなど新たな事業について取り組みを進めます。

#### (4) 生産資材部

- ① 多様な担い手への営農支援の充実と省力化を含めたトータル的な生産費の削減をはかるため、低コスト・省力化に繋がる肥料農薬・生産資材・施設・農機の開発・普及に努め、生産基盤の維持拡大に取り組みます。

- ② TACと連携した「出向く営農」と、予約結集や購買店舗の活性化等による「出迎える営農」の展開により農家対応力の向上をはかり、的確な施肥防除技術に基づく企画提案と仕入れ購買機能の強化につとめます。

- ③ 農機需要の減少するなか、新品・中古・部品・修理整備事業のバランスをはかり、系統シェアの維持拡大をすすめる、JA農機事業の収支改善と効率的な事業運営体制の構築に取り組みます。部品事業においては、西日本部品センターとの連携強化につとめ、更なるサービス向上と事業の効率化に取り組みます。

- ④ 施設・園芸資材事業における事業環境に対応するため、施主代行方式による事業強化と拡充に取り組みます。施設事業においては、関係部署との連携をはかり、各種施設に対する提案活動の強化をおこない、事業領域の拡大につとめます。住宅事業においては、情報収集機能の強化をはかり、JA総合事業としての事業の再構築に取り組みます。

- ⑤ 段ボール事業の競争力強化と安定供給をはかるため、系統結集による原紙仕入れ等購買力の発揮と「全農唯一の直営工場」である優位性を活かした事業機能の高位水準化をすすめる、多様化ニーズに対応した安全・安心で高品質な段ボールと副資材の低コスト生産・供給体制の強化に取り組みます。

#### (5) 生活部

- ① JA支所購買店舗のYショップ化や移動購買車の導入をすすめる、ライフライン店舗の存続対策の実施とJA生活店舗事業の収支改善に取り組みます。

- ② 県産品農畜産物消費拡大運動に積極的に取り組み、地域農業の振興に寄与するとともに、「JAKくらしの宅配便」「JATAタウン」「旬鮮倶楽部」等新たな供給体制の取

り扱い拡大に取り組みます。

- ③ 国産原料にこだわった「エコープマーク品」や「全農ブランド」商品の取り扱いを通じて、国産農畜産物の安心・安全を消費者にお届けします。

- ④ 環境関連事業の取り扱い拡大と、「新エネルギー事業」の取り組み強化により、地球の環境保全に積極的に取り組みます。

- ⑤ 経営分析・経営改善指導等「JAえひめ葬祭協議会」の事務局機能強化につとめ、JA葬祭事業のブランド力強化をはかります。

#### (6) 管理部

- ① コンプライアンス改善計画にもとづき、「風通しのない職場風土」の醸成とコンプライアンス意識の浸透・定着と4大リスク（債権・在庫・現金・食品表示）を重点としたリスク管理に取り組み、コンプライアンス態勢の維持・強化をはかります。

- ② 事業部との部門検討や収支・投資・要員管理の強化をはかり、事業計画の達成に取り組みます。

- ③ 第35回JA愛媛県大会決議に基づき、「トータルアグリロード事業」

表2 愛媛県本部 平成26年度 取扱計画

(単位：億円、%)

事業名	26年度計画	25年度計画	前年比
米穀事業	31	33	94
営農販売事業	456	439	104
畜産事業	114	109	105
生産資材事業	162	160	101
生活関連事業	128	124	103
合計	891	865	103

表3 グループ会社 平成26年度 売上高計画

(単位：百万円、%)

会社名	26年度計画	25年度計画	前年比
(株)えひめ飲料	29,007	30,119	96
JAえひめアイパックス(株)	4,104	4,175	98
JAえひめフレッシュフーズ(株)	3,275	3,140	104
(株)ひめライス	5,156	5,609	92
JAえひめエネルギー(株)	2,953	3,141	94
(株)えひめフーズ	868	793	109
JAえひめ物流(株)	6,880	7,120	97
合計	52,243	54,097	97

厳しい事業環境の中、事業直接費は増加するものの、①産地育成や地域の担い手確保、②「愛媛チーム」力を発揮した多元的販売やブランド販売体制の強化、③新技術普及等による生産

取扱計画(事業分量)は、25年度計画の103%となる891億円を見込みます。

取扱計画(事業分量)は、25年度計画の103%となる891億円を見込みます。おおよび生産資材や生活関連品の需要停滞の状況はあるものの、「トータルアグリ―ド事業」の継続的展開により、産地育成の取り組みや多元的販売の体制強化をはかることにより、26年度の取扱高(事業分量)は、25年度計画の103%となる891億円を見込みます。

を継続実践し、元気な産地づくりと担い手づくりに取り組みます。  
④ 一日全農えひめ、JA意見交換会、JA巡回等を通じて、会員の意思を事業運営に取り入れ、満足度向上をはかります。  
⑤ JA物流センターの機能強化をはかるため、JAグループで低コスト供給体制を構築し、総合物流の更なる整備・実践に取り組みます。  
⑥ 各事業部門における事業施策の実現に向け、営業力・企画力向上のための人材育成と要員の適正配

### 経営計画

置をはかります。  
⑦ JA・組合員に対し県本部グループ事業への理解向上と、広く消費者に対し県産農畜産物の消費拡大に向けた情報提供活動を展開します。また、TPP反対運動などのJAグループの活動に積極的に参加します。

### 取扱計画(事業分量)

高齡化等による生産基盤の弱体化

資材のコスト低減、④JA総合物流の再構築による物流コストの低減、⑤生活関連品の普及拡大や高齡化に対応した事業展開、⑥事業管理費の削減等により、26年度の当期利益は25年度計画の119%となる38百万円の計画とします。

### 投資計画

事業所の設備更新や施設老朽化対策、消費電力削減のための設備投資およびシステムサーバ更新のための情報システム開発を計画します。

### 要員計画

事業環境に対応した適正な要員体制をはかることとし、会内要員は26年度期末で182名とします。

## 機構改革と人事異動

J A全農えひめは、4月1日付けで平成26年度の機構改革と定期異動を実施しました。

**機構変更**では、生産資材部肥料農薬課の生産資材協同センターの名称変更と一部廃止を実施しました。東・南予地区については、J A・組合員のニーズに応える“総合物流拠点”として取扱品目を拡大するため、名称を「生産資材協同センター」から「J A物流センター」に変更しました。中予地区については、協同戸配送実験事業が平成24年度で終了したことから戸配送機能がなくなり、肥料農薬SP倉庫機能に留めることにしたため、機構から削除しました。

**(新) J A東予物流センター** ※(旧) 東予地区生産資材協同センター

**(新) J A南予物流センター** ※(旧) 南予地区生産資材協同センター

また、畜産部畜産販売課の中予販売センターは、機能的には畜産販売課でまかなえる体制を整備したことから、中予販売センター機能は畜産販売課に吸収し機構から削除しました。

この結果、**26年度は、6部16課15事業所**となります(機構図はP.10のとおり)。

**人事異動**は、平成26年度期首**職員数232人中、異動者総数は54名**です。(課長・審査役以上の異動はP.9のとおり)

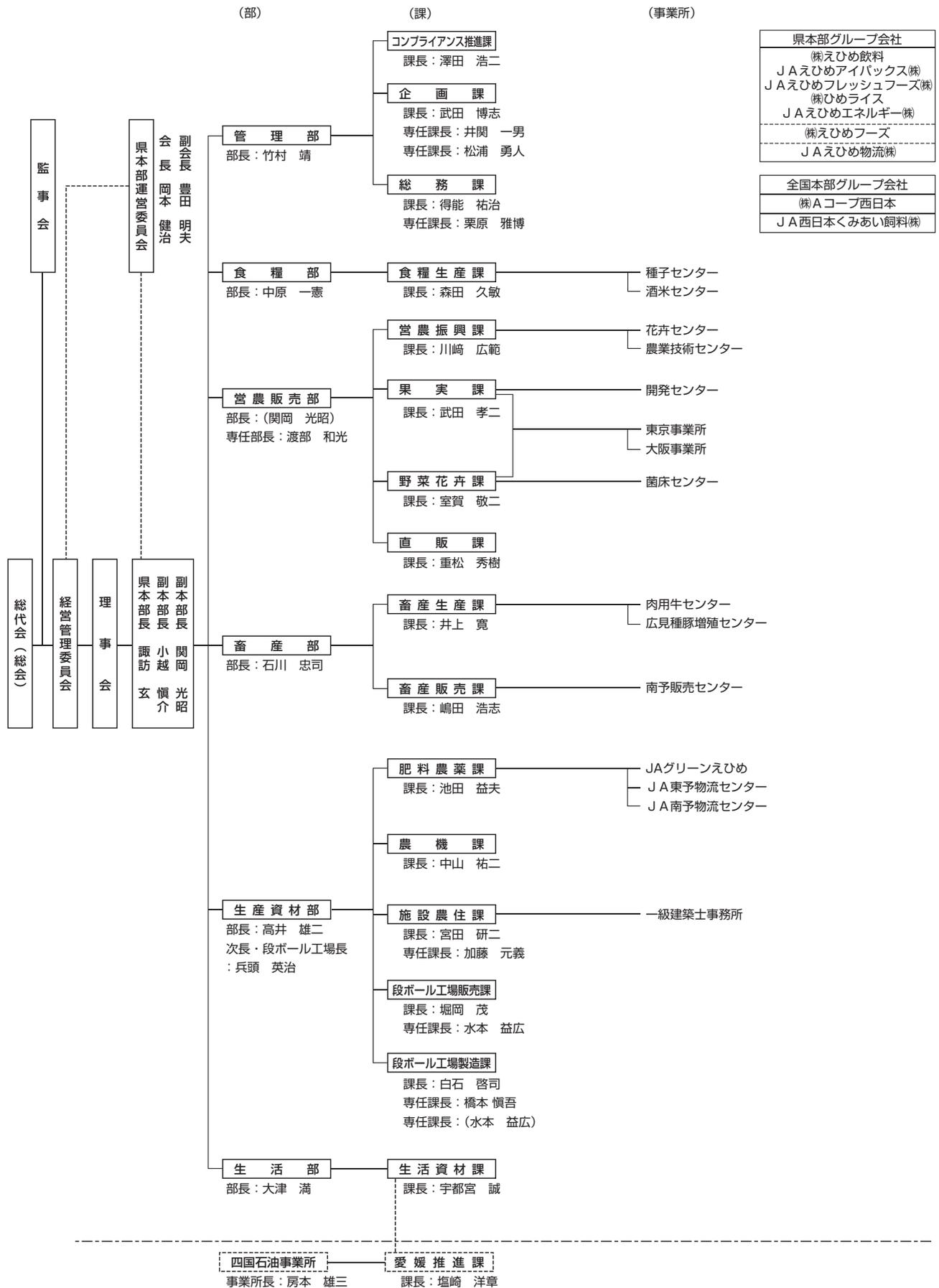
### 人事異動(平成26年4月1日付) ※審査役以上

氏名	新任部署	旧任部署
小越 慎介	(審議) 副本部長 管理・畜産・生産資材・生活担当	(審議) 副本部長 管理・生活担当
関岡 光昭	(審議) 副本部長 食糧・営農販売担当 営農販売部長 事務取扱	(監) 営農販売部長
中原 一憲	(監) 食糧部長	(審) 食糧生産課長 種子センター所長 事務取扱 酒米センター所長 事務取扱
渡部 和光	(監) 営農販売部 トータルアグリード専任部長	(審) 営農販売部(果実課・野菜花卉課 ・直販課) 県域販売専任課長 東京事業所長 事務取扱
石川 忠司	(監) 畜産部長	(監) 畜産部長 畜産生産課長 事務取扱
菅 裕治	(監) 愛媛県施設農業協同組合連合会 出向	(監) 食糧部長
森田 久敏	(審) 食糧生産課長 種子センター所長 事務取扱 酒米センター所長 事務取扱	(副審) 総務課(課長事故代行者)
井上 寛	(審) 畜産生産課長 肉用牛センター所長 事務取扱	(副審) 企画課 (課長事故代行者)
玉井 純	(審) 南予販売センター所長	(副審) 南予販売センター所長
兵頭 英治	(監) 生産資材部次長 段ボール工場長	(審) 生産資材部次長 段ボール工場長
池田 益夫	(審) 肥料農薬課長	(審) 肥料農薬課長 中予地区生産資材協同センター所長 事務取扱
池内 逸雄	(審) J A東予物流センター所長	(審) 東予地区生産資材協同センター所長
上甲 順二	(審) J A南予物流センター所長	(審) 南予地区生産資材協同センター所長
水本 益広	(監) 段ボール工場販売課 段ボール工場製造課 兼務 製販一体管理総合専任課長	(監) 企画課 J A総合専任課長
矢野 貴之	(審) 段ボール工場製造課 (課長事故代行者)	(副審) 段ボール工場製造課 (課長事故代行者)
松田 一人	(監) 株式会社ひめライス 出向	(監) 本所 燃料部 四国石油事業所長

【表の見方】 職能資格呼称等は略称表記しています。(審議) = 審議役、(監) = 監理役、(審) = 審査役、(副審) = 副審査役

# 全農愛媛県本部 2014年度（平成26年度） 機構図&ライン管理職等配置

平成26年4月1日現在（6部16課15事業所）



(単位：円)

品名	規格	推進価格	消費税	税込価格
えひめみかん・いよかんジュース	ケース (1ℓ×8本)	1,926	154	2,080
えひめつぶみかん・いよかんジュース	ケース (1ℓ×8本)	2,759	221	2,980
えひめみかん・いよかんジュース(缶)	ケース (250g×30本)	2,241	179	2,420
愛媛なつみかん50	ケース (1ℓ×8本)	2,000	160	2,160
愛媛の味わい柑橘100	ケース (1ℓ×6本)	1,963	157	2,120
愛媛の特煎茶	ケース (500ml×24本)	2,380	190	2,570
愛媛の柑橘搾りセット	ケース (1ℓ×12本)	3,518	282	3,800

生活  
資材課

THE

ねとわーく

「えひめみかん・いよかんジュース・お茶等消費拡大・愛用運動を展開！」

J Aグループ愛媛 等愛用運動」(J Aグループ愛媛農畜産物消費拡大推進本部・県内各J A・J A愛媛中央会・J A全農えひめ主催)を実施しています。

この運動は、県内産主要農畜産物の消費拡大により、地域農業の振興とともに、良質で安全な県産品の愛用を進め県民の健康増進をめざす「愛媛県産農畜産物加工品消費拡大運動方針」を受けて毎年取り組んでいるものです。ジュースの愛用運動は8月末まで、お茶は12月末までの期間限定となっています。今年度は計35万ケースを目標に取り組みますので、ご理解と

ご協力をお願いいたします。

◆今年度の変更点

取扱商品の変更はありませんが、新たに「愛媛の柑橘搾りセット」を数量限定(1万ケース・5月12日)で取り扱いを始めます。

なお、平成26年4月から、消費税の引き上げ及び諸般の情勢により価格が変更となっています。

【商品特徴】

① えひめみかん・いよかんジュース  
愛媛の元気な太陽を浴びて育った温州みかんと伊予柑の果汁をブレンドした飲みやすく、体にやさしい果汁100%ジュースです。  
1ℓペットと250g缶があります。

② えひめつぶみかん・いよかんジュース  
愛媛産の温州みかんと伊予柑の果汁のみかんの果粒(つぶつぶ)を加えた、普通のジュースでは味わえない飲む「果物感覚」の果実分100%ジュースです。

③ 愛媛の味わい柑橘100  
愛媛県産の不知火・いよかんとその他柑橘の果汁を贅沢にブレンドした爽やかな味わいのジュースです。

1ℓペットボトル。

④ 愛媛なつみかん50

愛媛県産夏みかん果汁を使用したスッキリ飲みやすい飲料(果汁50%)です。1ℓペットボトル。

⑤ 愛媛の特煎茶

愛媛県産茶葉を100%使用し、心地よい苦味とさっぱりした後味の緑茶です。食後やスポーツの後、焼酎等の緑茶割りとしてご利用いただけます。500mlペットボトル。

⑥ 愛媛の柑橘搾りセット

「えひめみかん・いよかんジュース」1ℓペット4本、「愛媛の味わい柑橘」4本、「愛媛なつみかん50」4本をセットにしました。いろいろな味が楽しめます。5月12日から1万ケース限定で取り扱います。

いずれの商品も、例年と同様に数量限定で取り扱っています。運動期間中でも品切れの際には販売を終了しますので、早めのご注文をお願いします。

毎年県産品として県内外への贈答品として大変好評であり、今年も贈答需要に対応できるよう宅配も受けつけています。詳しくは最寄りのJ Aにお問い合わせください。



## 自転車に乗って どこまでも♪

今思い返すと、物に一目惚れをしたのはあの時が最初だったのだと思います。

高校入学を控えた春の日、自転車通学が決まった私は、父と一緒に父の知人の自転車屋さんへと向かったのです。自分の物を、それも当時の私にとってはとても高価な物を買ってもらったという事でなんだか変なドキドキ感があった事を記憶しています。自転車屋さんに入った瞬間、私の目に一台の自転車が飛び込んできました。それは店内でひととき高く壁にぶら下がっていたのです。気持ちがいいくらいの爽やかな水色。全体に少しパールがかっていて、このなかなか見る事がないパステル調の水色自転車を見た瞬間私の口からは「この自転車がいい！」という言葉が出ていたのです。こうして私と水色自転車の3年間はスタート。雨の日も雪の日も大好きな水色自転車で片道30分の道を通いました。友人と通う道のり。その全てがキラキラした特別な思い出です。

高校を卒業し自転車からはめっきり

遠ざかっていきましたが、昨年自転車番組を担当するのをきっかけに、久しぶりに自転車に乗る事になったのです。高校以来の自転車っていったいどれだけ前なのか(笑)しかも本格的なロードバイクで県内全域を疾走するときたもので、周りも私も少々不安があったものの新しい事を始めるのが大好きな私は「大丈夫、大丈夫♪」と、超久しぶりの自転車生活に突入したのでした。

あの時から一年近く。思う事はただ一つ。自転車ってやっぱり面白いなあ〜♪という事。私はまだまだ本格的なサイクリストではありません。ゆっくり自分のペースで走ります。でも、ペダルを踏むごとにあの頃のワクワクした、はやる気持ちが蘇ってきて心から楽しいと思えるのです。

この一年走ってきたのは、愛媛がサイクリングパラダイスになる事を目指して県が展開している「愛媛マルゴト自転車道」。このコースを走ってみて、愛媛って本当に自転車で走るのに最高のロケーションや美味しい食べ物が

# 作道 泰子

TAIKO SAKUDOU

フリーアナウンサー。松山市出身。1月5日生まれ山羊座B型。松山大学を卒業後、南海放送に入社。ラジオリポーターとして県内各地の中継リポートや番組パーソナリティを務める。退社後、テレビ愛媛の番組キャスターを約6年間務め、現在はテレビ・ラジオを中心に幅広く活躍する。2010年度からはJAバンクえひめの各種キャンペーンのキャラクターとしても活動。2013年から自転車の番組を担当し、初心者ながらも愛媛を疾走中♪瓶ヶ森～石鎚スカイラインの雄大な自然・しまなみの穏やかな景色・明浜から八幡浜へと続く美しいリアス式海岸・自転車で走ってみて改めて愛媛の自然、四季の美しさを実感している。今年が「瀬戸内しまのわ2014」の年。10月のサイクリング大会に向けてさらに頑張ります!!

#### ◆担当番組◆

『映画情報番組 シネナビ』あいテレビ(日・22:54~)  
『うちのレシピ』南海放送テレビ(土・9:30~10:00)  
『門田基志・作道泰子のレッツサイクリング!』南海放送テレビ(第3日・20:54~)  
『県政広報特別番組・行って来うわい』南海放送テレビ(不定期)  
『いきいきプラザ』テレビ愛媛(火~金・11:20~)

◀岩城島の自転車ロケで食べたレモンポーク丼♪  
ジューシーなお肉の甘さとレモンの爽やかな香りが口いっぱいに広がります。グルメスポットに立ち寄るのもサイクリングの楽しみです！



揃っているなど実感します。  
1回目の撮影で走ったのは鬼北町日吉〜大洲市長浜へと続く肱川沿いを走るコース。川のせせらぎや鳥のさえずり。クーンと嗅いだ春風の匂い。五感で感じるとはまさにこの事！大洲に入りさすがにへこたれ始めた時、どこからともなく「頑

張って！」の大きな声が聞こえてきたのです。振り向くと道沿いの工場で作業をしていた人が笑顔で立っていました。不思議なもので、頑張っている一言で人って元気になれるんですね。

愛媛の自然はダイナミックだと感じたのは石鎚山系を走るコース。初めて聴くこだまするような鳥の鳴き声。眩しいほどに煌めく一面の笹の高原。木々のざわめき。まるで宮崎アニメに出てくるようなロケーションです。いつも番組で初心者私を引っ張ってくださるのは愛媛在住のMTBプロライダーの門田基志さん。ここはトレーニ



▲愛南町の篠山にて。こんな木漏れ日の中も走ります。上りはかなり大変ですが、頂上付近では、遠く御荘湾を望む絶景が待っています！！

ングスポットの1つだそうで、この辺りの事は何でも知っています。滝スポットにも詳しく、水分補給は滝から汲んだ湧き水。一口飲んだ瞬間のひんやりとした美味しさと言ったら、感動ものです。

今治市玉川で立ち寄った『ふれ愛茶屋』は地元元気なお母さん達が手作りの料理をふるまうお店。よもぎたつぷりの「まんてん焼き」やお皿いっぱい盛り付けたそうめん。おっきなおにぎり。「これも食べて」とどんどん出てくるお料理すべてにお母さん達の愛情を感じました。サイクルスタンドも設置して、サイクルリストが立ち寄るのを楽しみに待っていてくれるんです。

愛南町の標高1,065mの篠山では野生の鹿に3度も遭遇！途中4頭の鹿が草むらに現れ、鹿の家族と自転車と並走しました！何ともいえない驚きと興奮の瞬間。ゴールは愛媛最南端の高茂岬。ぱーんと開けた太平洋につつまむような不思議な感覚を味わいました。愛媛の自然は本当に変化に富んでいます！

自転車愛媛を走ってみると、直接肌で感じる物が確かにありました。愛媛がもつ四季を通じた穏やかな景色。豊かな自然に育まれた食。そこに根付く人々の生活。愛媛は本当に美しい場所だと心から思いました。見て触れて出会った人々との縁にも感謝し、そしてまた！自転車に乗ってあの場所に行ってみようと思います。

## ●「ふれ愛・媛ポーク」特別試写会開催 ひめとんボーイズが映画「銀の匙」試写会に登場しPR!

J A全農えひめ畜産部は、映画「銀の匙（さじ）」の3月7日全国一斉公開を前に3月4日、松山市と新居浜市の映画館で「ふれ愛・媛ポーク」特別試写会を開きました。

試写会は、J A全農えひめが命の大切さや畜産農家の苦勞を感じてもらうとともに、愛媛県産豚肉ブランド「ふれ愛・媛ポーク」のファン拡大とPRにつなげようと開いたもので、あわせて135組270人を招待しました。

「銀の匙」は、累計1,300万部を突破した荒川弘原作の大ヒットコミックスを実写映画化したもの。農業高校に入学した主人公が酪農実習や部活動に苦悩しながらも、仲間とともに農業の理想と現実と葛藤しつつ命の大切さを学んでいくストーリー。

松山市のシネマサンシャイン衣山では、「ふれ愛・媛ポーク」をPRする若手生産者集団「ひめとんボーイズ」のメンバー7人が、60組120人の招待客入場の際に記念品を渡して出迎えたほか、開演を前にメンバー全員が舞台あいさつ

をしてイベントを盛りあげました。

リーダーの酒井庸裕さん（鬼北町・酒井ピッグファーム）は、「私たちは、みなさんに安全で美味しい『ふれ愛・媛ポーク』を食べていただこうと、愛情込めて豚を育てています。今日はこの映画を通じて皆さんにも動物はかわいいだけではないということを感じてもらえればありがたい」とあいさつし、大きな拍手が寄せられていました。



## ●J A愛媛果樹技術指導員会 果樹技術研修会 26年産果樹の生産対策などを協議

J A愛媛果樹技術指導員会は、3月3日、松山市のJ Aえひめ中央大会議室で、果樹技術研修会を開きました。

研修会には、県内J Aの果樹技術員のほか県・果樹研究センター関係者などが出席。研修会に先立ち、J A愛媛果樹技術指導員会名誉会長賞の表彰が行われ、黒田元康さん（J Aにしうわ）と清家伯弘さん（J Aえひめ南）が受賞しました。

研修会では、25年産主要果樹の生産総括と26年産の生産対策及び病虫害発生情報などについて報告・協議するとともに、肥料農薬情勢や果樹関係の補助事業などの情報提供がありました。



▲名誉会長賞を受賞した清家さん（左）と黒田さん

## ●(株)ひめライス無洗米キャンペーン抽選会 当選者500人を選ぶ！

(株)ひめライスは、3月12日、松前町の本社で、無洗米あらうまいキャンペーンの抽選会を行い、山本健吾社長らが、6,859通の応募の中から、当選者500人を選びました。

このキャンペーンは、ひめライスブランド50周年記念キャンペーンの第3弾として、12月23日から2月末まで実施。テレビCMや店頭ポスター等を通じて安心・安全・エコな無洗米「あらうまい！」の利便性など5つのメリットをPRし、定着化と販売拡大に取り組んだ結果、応募数は前年比105%でした。

応募者からは、「多くの人から愛され続け60周年、70周年を迎えてください」「お米をとがなくてよいので手も荒れないし、水の節約にもなるので大変便利」「手間がいらず、家計や環

境にやさしいおいしいお米は、忙しい主婦の頼れる味方」などの声が寄せられました。



## ●ひめライス50周年記念「ひめライス杯レディース卓球大会」 過去最高の422人がエントリーし熱戦を展開

2月23日、ひめライス50周年記念「第27回ひめライス杯南海放送レディース卓球大会」が松山市の県武道館主道場で開かれ、過去最高の211組・422人がエントリーし、熱戦を繰り広げました。

この大会は県内最大規模の女子ダブルスの大会。22歳から94歳までの選手が、5クラスに分かれ、11点先取の5ゲームマッチで、日頃の練習成果を競いました。

最もレベルの高いAクラスで優勝した高橋澄香・武智瞳ペア（所属＝結、新居浜市・松山市）は、「コンビネーションの勝利。ひめライスがもらえて幸せです。このお米を食べて練習を頑張り、来年も優勝をめざします」と、副賞のひめライスを手に笑顔をみせていました。

(株)ひめライスは、スポーツを通じて愛媛のお

米『ひめライス』をPRしようと、同大会を応援。参加賞に加え、各クラス3位以内の選手全員に副賞として無洗米『あらうまい！』を贈りました。



▲副賞のお米を手に喜ぶAクラス優勝の高橋（左）・武智ペア

# なんでもBOX

## 青壮年組織代表者とJA全農えひめ幹部が意見交換

JA全農えひめは、2月27日、松山市のJA愛媛で、JA愛媛青壮年連盟とJA青壮年組織代表者・JA事務局を交えて意見交換を行いました。

JA愛媛青壮年連盟三役をはじめ執行部や青壮年組織代表、JA事務局、JA全農えひめからは諏訪玄県本部長をはじめ関係部長など計30人が出席。JA全農えひめから「トータルアグリード事業」の概要を報告した後、青壮年代表者から出された「果樹産地の農地集約の方向」「飼料用米の畜産への対応」「肥料の銘柄集約等生産資材のコスト低減や農産物輸出の方向」等の質問・要望・提案にJA全農えひめが回答・説明

したほか、産地拡大や担い手対策などの諸課題についても活発に意見交換しました。



## ●愛媛産柑橘をPR 「ふるさとの食 につぼんの食」 全国フェスティバルに出展

JA全農えひめ果実課は、3月8日と9日の2日間、東京のNHK放送センターと代々木公園で開催された「ふるさとの食 につぼんの食」全国フェスティバルに旬の柑橘を出品しPRしました。

この催しは、全国各地の農産物や食材を紹介し、地産地消や食育の大切さを伝えようと、「ふるさとの食 につぼんの食」全国実行委員会などが主催したものです。

JA全農えひめは、全国各地の食を集めた代々木公園の「ど〜もくん市場」コーナーで、3月限定販売の伊予柑「弥生紅」、デコボン、せとか、清見などを試食販売。多くの人で賑わいました。



## ●オレンジロードと旬の柑橘PR 愛媛いよかん大使が 試食宣伝販売を実施

JA全農えひめ果実課は、全国一の生産量を誇る愛媛産柑橘のPRと消費拡大につなげようと、「4月14日=オレンジデー」までの愛の記念日ごとに、“愛のシンボル”であるオレンジ(旬の柑橘)を贈り合う「愛のオレンジロード」キャンペーンに取り組んでいます。

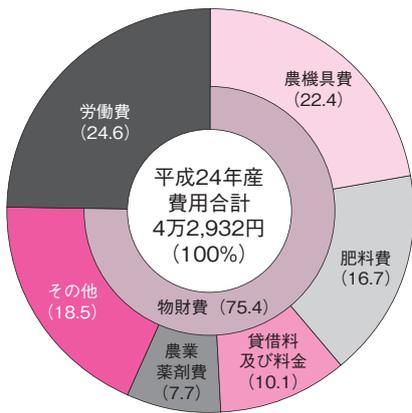
「ホワイトデー」を前に3月9日と「ホワイトデー」当日の3月14日には、松前町のエミフルMASAKIで、愛媛いよかん大使がせとか・デコボンなどの試食販促&「オレンジロード」のPR活動を行いました。14日は、購入者先着100名様に観葉植物「ラブラブハート」プレゼント企画なども実施し、イベントを盛り上げました。



# 統計BOX

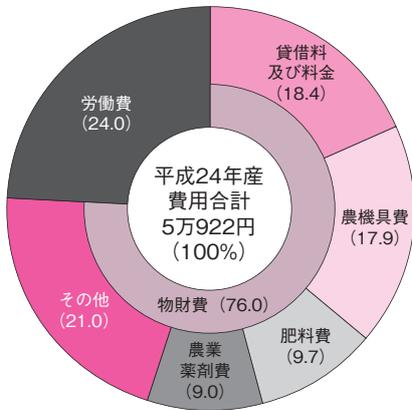
## はだか麦の10a当たり全算入生産費は、4万9,977円 — 平成24年産麦類、大豆生産費(全国)から —

図1 はだか麦の主要費目の構成割合(10a当たり)



資料：農林水産省統計部「農産物生産費統計」

図2 大豆の主要費目の構成割合(10a当たり)



資料：農林水産省統計部「農産物生産費統計」

**経** 営所得安定対策において、販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象とし、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るとともに、麦・大豆等への作付転換を促しています。今月は、その交付金の対象となっている作物のうち、はだか麦と大豆の生産費について見ていきたいと思います。

**はだか麦は農機具費が約2割**

24年産はだか麦の10a当たり資本利子・地代全額算入生産費(以下「全算入生産費」という)は、4万9,977円でした。

費用合計は4万2,932円で、うち物財費が3万2,390円、労働費が1万542円でした。主要費目の構成割合をみると、農機具費が22.4%(9,604円)、肥料費が16.7%(7,179円)、貸借料及び料金が10.1%(4,354円)となっており、3費目で費用合計の約半分を占めています(図1)。

**大豆は貸借料及び料金が約2割**

24年産大豆の10a当たり全算入生産費は6万4,083円でした。費用合計は5万922円で、うち

物財費が3万8,719円、労働費が1万2,203円でした。主要費目の構成割合をみると、貸借料及び料金(選別など)が18.4%(9,364円)、農機具費17.9%(9,121円)、肥料費9.7%(4,933円)となっており、3費目で費用合計の約半分を占めています(図2)。

また、60kg当たり全算入生産費は1万9,323円でした。我が国の農業における担い手の農地利用は全農地の5割を占めていますが、農業従事者の高齢化、耕作放棄地の拡大などの課題が生じており、危機的状況にあります。政府は、平成25年12月に「農林水産業・地域の活力創造プラン」を取りまとめ、農業を足腰の強い産業としていくための政策(産業政策)と、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための政策(地域政策)を車の両輪として推進しています。

農業者、農業者団体、行政が協力して、課題の解決に向けて取り組み、強い農林水産業と美しく活力のある農山漁村を創ることが重要です。

**中国四国農政局**  
**松山地域センター農政推進グループ**



▲伊予市鳥ノ木団地近くにある「いよっくら」。JR 予讃線は鳥ノ木下車

## ファーマーズマーケット「いよっくら」 ～JAえひめアイパックス(株)～



### インフォメーション

- TEL/089-997-3720
- 営/9:00～17:30
- 休/第1火曜(祝日は除く)、1月1～4日
- 住/伊予市下吾川字北野511-1
- URL/http://www.iyokora.jp/



▲店内風景

売り場面積約500㎡に出荷会員約600人の持ち寄り新鮮な農産物が自慢の直売所です。生産地は地元・伊予市が中心ながら、高冷地から南予まで県内広範囲に及び、同じ農産物も収穫期が違い、長く旬のものが求められる利点があります。加えて、併設150㎡の花コーナーは花き専門農家自信の苗物、切り花、鉢植え類が花盛りです。

もう一つの大きな特徴は「いよっくら」の経営母体が県内唯一の食肉センターということと、牛肉は西予市城川町の「関平牛」、豚肉は今治市菊間町の直営農場の「せと風ポーク」を販売。鶏肉は県養鶏試験場で開発の「媛っこ地鶏」と、県内生産の安全・安心な食肉ラインナップも魅力です。加工品・惣菜類は、人気の和牛コロッケ、母ちゃんからあげ、いよっくらバーガーに加えて、スパイススペースアリブ、豚軟骨の角煮風、鶏手羽先の甘タレ、昨秋より入店の吉井鮮魚のほうたれ天や小鰯の南蛮漬けなど、魚肉類がさらに充実しています。

5月からは第1日曜日には店頭フリーマーケットがはじまり、8月第1日曜日の夏祭り、10月の収穫祭など、時期折々の季節イベントや食育活動でファン層を拡大させながら開店10年目へと突入していきます。



▲肉厚ハンバーガー



▲心も華やく園芸・花コーナー



【広域map】



▲「いよっくらブランド」の愛媛産を使った調味料が次々と登場。「七折梅ソフトクリーム」や「本格芋焼酎いもっくら」も要チェック!

# JAグリーンえひめ ~JA全農えひめ~



## インフォメーション

- TEL/089-964-4300
- 営/8:30~18:00 (10~3月は17:00)
- 休/12月31日~1月4日
- 住/東温市北野田字平松345
- URL/http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/store/s/index01.html



▲飛ばのように売れていく、土がまだ乾いていない大野ヶ原の大根



▲精肉コーナーも充実



▲全国どぶろくコンテストの最優秀賞受賞の「由紀っ娘物語」も並ぶ



▲どぶろくプリンもご賞味を



▲いいものはお早めに / 開店直後のにぎわい



葉もの野菜もピンッと直立、新鮮野菜

緑が広がるのどかな風景の中にある「JAグリーンえひめ」の朝7時。朝採れ野菜の出荷時間を待ちわびる農家の方々が賑わっています。出荷会員約410名。重信川の流域を中心に、中予地域一円の農産物が集まってくる「JAグリーンえひめ」で、さらによいものを求めるには朝一番がおススメです。オープンから15年、競合店も増える中で愛され続けているのは元気な出荷者同様の元気で魅力的な新鮮野菜たちが絶えないからに他なりません。花木コーナーのシキミもまた日持ちがよいことで定評があります。どぶろく特区・東温市内3蔵元のどぶろくや、はだか麦のヘルシーケーキ、地元の大豆でつくった豆腐、手づくり巻き寿司やおはぎなども心躍る商品です。

農産物に加えて、県内産を量り売りする対面販売の「精肉コーナー」、毎週金・土曜日の午前中には水揚げ鮮魚がトラックで運ばれてくるなど、地元の安心・安全な産物を多様なニーズに応えて展開しています。

また、常時の利用者から週末に訪れる遠方の方々まで広く行き渡るおもてなしをと、毎月第1日曜日はお楽しみ特典付きの感謝デー、毎週火曜日は卵の特売、金曜日には精米が1割引など、うれしいサービスも各種用意。7月にはリニール2周年記念イベントも開催予定です。



●TACについて。現場の指導というのは本当にありがたいことで、いつも感謝しています。長年栽培に取り組んでも、毎年何か変わったことが起こります。作物を眺めたら悩むことが多々ある中で、「今年の作柄はどうですか」と言いながらは場を見回ってくる。作物に手を触れて対策を考えてくれる。とても安心します。TACは、生産者の意識向上にもつながっています。今後も指導をよろしくお願いします。  
(西条市・近藤 明美さん)

●TACという言葉は知りませんでした。実践報告のやつしろやおちいまばりの取り組みを読んで知りました。とことん会ってコミュニケーション！この取り組みがどんどん広がってほしいです。  
エッセー「自然が教えてくれるもの」あたりまえにありがとう！Uターンではないけれど、都会からあるいは地方から、様々な形で地元に戻って働いてくれる人たちはありがたい。いいところですよ、愛媛県は！  
(大洲市・沖中 さわえさん)

●エッセーの中村和憲さんの講演を以前、PTAの関係で聞いたことがあり、感動したことを思い出しました。また、歌も披露していただき、やさしい歌声だったことを今でも覚えていています。現在もPTA関係をはじめ多方面で活躍されており、今後幅広い活躍を期待しています。  
(宇和島市・山本 祥司さん)

●エッセーを読んで。私は愛媛に生まれて何十年で、主人の転勤で岐阜に5年余り住んでいました。岐阜もいい所でしたが、海がなく山ばかりで、とてもさみしかったです。帰省する時に海のかおり、潮のかおりを感じた時、とても感動したことを覚えています。本当に愛媛に生まれてよかったです。これからも愛媛に生まれてよかったことを感謝しながら生活していきます。  
(松山市・松本 恵子さん)

●私たちは研修旅行では必ず直売所に立ち寄りです。30分間くらいで次へ出発です、いつも残念です。直売所めぐりの総集編は、毎月立ち寄った気持ちにさせてくれます。  
宇和島市の遊子の方に行きましたが、じゃがいもが手に入りませんでした。遊子水荷浦地区の新じゃが男爵が並ぶ頃、出かけてみたいなど今

からワクワクしています。  
(西条市・白木 泰子さん)

●直売所めぐりに出ていた、JA愛媛たいきの愛たい菜のジェラートを食べてみたい。  
もうすぐだけのこの季節ですね。毎年山でとれるのですが、あまりだけのこが好きではありません。なので、おすすめのためのレシピを紹介してください。  
(西条市・竹中 由香里さん)

●農の風景はいつも楽しみで見えています。パッと見て、キウイフルーツかと思ったのですが、よく見ると生椎茸品評会とのこと。本当に素晴らしいですネ。丹精込めて作っていることが伝わってきました。  
私たちが美味しくいただけるのも、「今後も高品質椎茸の出荷に努めたい」の一言があるから。とてもうれしく思いました。椎茸づくりの皆さん、頑張ってください。  
(西条市・松尾 紀子さん)

●若い頃、油絵を習っていたせいか、「あぐり〜ど」を手にとると、しばらくの間表紙を隅から隅まで拝見します。はらふみさんのイラストには、季節感はもちろん、心のこもった表現力があり、大好きです。一度、お顔も載せてほしいです。  
(今治市・阿部 徳子さん)

●表紙は本当はほんのほのほとしました。受験生はいないので、母親の気持ちかひしひしと伝わってきました。愛媛にはいいよかん、愛媛のいよかんで全国の受験生も頑張っていると思います。  
(西条市・越智 小夜奈さん)

■イベント情報

①5月8日から10月4日まで、毎年人気の「リジュール松山 屋上ビアガーデン」(松山市南堀端町2番地3)がオープンします(定休日は日曜・祝日と8月15日・16日)。ご予約・問い合わせは、TEL089-1948-15631まで。空席情報は、「リジュール松山」で検索ができます。

②5月17日・18日、東温市のJAグリーンえひめ、愛媛の新茶を一堂に集めて「新茶まつり」が開催されます。

今月のクイズ

物流トラックにも描かれている「落第忍者乱太郎」は、ある愛媛産農産物のイメージキャラクターです。何のイメージキャラクターでしょうか？

「えひめ○○」

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

平成26年5月20日(当日消印有効)

発表

「あぐり〜ど」6月号で発表します。

当選者発表

2月号の答えは「TAC」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10の方に図書カード1,000円分をお送りします。

- 三宅 住枝さん(西条市) 矢野美恵子さん(大洲市)
- 菊池しえみさん(八幡浜市) 河原 勉さん(松山市)
- 宇都宮佐織さん(松山市) 馬越ムツ子さん(今治市)
- 松本 興八さん(松山市) 亀田 均さん(伊予市)
- 井上 典子さん(大洲市) 中平 寛子さん(松山市)

編集後記

★4月から消費税が引き上げられ、高速道路料金の割引縮小・廃止なども始まりました。3月は駆け込み需要で電気製品からビールまで売れ行きが伸びたとか。下旬には店のトイレトーパー等の棚には品切れの表示が見られました。4月からは、増税の反動による消費の落ち込みが懸念されています。店に行くとも行われていますが、農産物の消費や価格への影響も心配なところです。  
(正直)



今月の素材

# 乾椎茸



保存に便利。戻して調理で、  
うまみ成分・栄養価もグンとアップ



▶(左) 鶏肉のソテー・椎茸の醤油クリームソース、(前) 乾椎茸の炊き込みご飯 (右) 甘辛煮

指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大西 望先生

## 鶏肉のソテー・椎茸の醤油クリームソース

〈材料・4人分〉	※1人あたり約700kcal
乾椎茸	8枚
タマネギ	1個
鶏もも肉	2枚(約600g)
塩・コショウ	少々
①小麦粉	適量
油	少々
バター	30g
濃口醤油	大さじ2
小麦粉	大さじ2
生クリーム	200cc
塩・コショウ	少々
レタス	2枚
レモン	1/2個
パセリ (みじん切り)	少々

### 〈作り方〉

- 乾椎茸は戻して水気を切り、細かく刻む。タマネギは千切りにする。
- 鶏肉は厚さを均一にして①の塩・コショウをし、小麦粉をはたき、油を熱したフライパンで皮目から焼いてから取り出す。
- 同じフライパンにバターを入れ、①を炒めて、醤油をからめる。小麦粉を振り入れ、はじめは生クリームを加えて、沸かさないうように温め、塩・コショウで味を調える。
- レタスを敷いた皿に②を盛り、③のソースをかける。パセリを散らし、レモンを添える。

## 乾椎茸の炊き込みご飯

〈材料・4人分〉	※1人あたり約160kcal
乾椎茸	8枚
焼豚	100g
米	2合
戻し水	400cc
酒	大さじ1
①ミリン	大さじ1
薄口醤油	大さじ1
青ネギ	2本

### 〈作り方〉

- 乾椎茸は戻して、水気を切り、1cm角に切る。
- 米は戻し水と①、①を加えて炊く。
- 炊き上がれば、ひと混ぜし、ネギの小口切りを飾る。

## 甘辛煮

〈材料・4人分〉	※1人あたり約40kcal
乾椎茸	24枚
戻し水	1ℓ
醤油	大さじ2
①砂糖	大さじ3
酒	大さじ3
ミリン	少々
けしの実	少々

### 〈作り方〉

- 乾椎茸はたっぷりの水で戻す。
- 戻し水をこして、鍋に椎茸と一緒に入れ、火にかける。
- 椎茸が柔らかくなったら①を加えて弱火でコトコトと煮る。
- 椎茸が煮汁を含んできたら、ミリンを加えて仕上げる。けしの実をふる。  
※けしの実の代わりにゴマをふってもよい。



# ポン

## スパークリング

甘酸っぱさがやさしい シュワツと柑橘

ボンジュース果汁を30%配合。ボンジュース特有のやさしい味と、ほどよい炭酸の刺激が口の中にシュワツとやさしく広がります。





株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地  
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

http://www.ehime-inryo.co.jp  
(通販専用) http://www.pom-j.com

全国発送承ります



**えひめみかんいよかん  
ジュース**  
愛媛産の温州みかんといよかんの柑橘果汁を  
ブレンドした飲みやすく体にやさしい果汁100%ジュースです。  
●1,000mlペットボトル×8本/ケース  
●250g缶×30本/ケース

ちやんと、えひめ。  
しつかり、みかんいよかん。

えひめみかん  
いよかん  
果汁100%

えひめみかん・いよかんジュースは  
愛媛の元気な太陽を浴びて育った  
みかんといよかんの柑橘果汁を  
ブレンドした飲みやすく体にやさしい  
果汁100%ジュースです。

**季節限定**  
数量に限りがあります。  
品切れの際は  
ご容赦頂きますよう  
お願いいたします。



**えひめつぶみかんいよかんジュース**  
愛媛産の温州みかんといよかんの果汁にみかんの果粒(つぶつぶ)を  
加えた飲む果物感覚の果実分100%ジュースです。  
●1,000mlペットボトル×8本/ケース

**愛用運動期間** 4月1日～8月31日

主催団体／JAグループ愛媛農畜産物消費拡大推進本部・県内各JA  
JA愛媛中央会・JA全農えひめ

協賛団体／JAえひめ女性組織協議会・愛媛県農協青年連盟・愛媛県果樹研究同同志会・愛媛県女性果樹同同志会・愛媛県果実生産出荷安定協議会  
愛媛県茶業振興協議会・JA愛媛信連・JA共済愛媛・JA愛媛厚生連・愛媛県酪連・JA愛媛施設連



環境に配慮した植物油インキ  
を使用しています。

この冊子は再生紙を使用しています。